

第4章 都市計画対象道路事業実施区域及びその周囲の概況（地域特性）

地域特性の把握は、調査区域で行い、調査区域内に存在する市町（岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町）の3市1町を関係市町としました。

4.1 自然的状況

4.1.1 気象、大気質、騒音、振動その他の大気に係る環境の状況

1) 気象の状況

調査区域が位置する長野県の諏訪地域は、図 4.1.1.1に示すとおり、気象の地域区分において長野県中部に位置します。「長野県の気候」（令和2年3月 長野地方気象台）によると、長野県中部は内陸特有の気候が明瞭となっており、冬季の平地は季節風が山脈を越えてくるため、空気が乾燥し、晴れの日が続くとされています。また、平地の多くが盆地であるため、昼と夜の気温差が大きいとされています。



出典：「気象警報・注意報や天気予報の発表区域」（令和2年3月 気象庁）

図 4.1.1.1 長野県の気候区分

・実施区域及びその周囲の概況（地域特性）は、令和2年3月末現在で入手可能な最新の文献、その他資料により把握しています。

調査区域における気象観測所は、諏訪特別地域気象観測所の1箇所であり、位置は図4.1.1.5に示すとおりです。諏訪特別地域気象観測所における過去10年間の気象概況は、表4.1.1.1に、令和元年の月別の気象概況は、表4.1.1.2及び図4.1.1.2～図4.1.1.4に示すとおりです。

諏訪特別地域気象観測所における過去10年間の気象概況は、年平均気温が11.0～12.3℃、年間降水量が1,058.5～1,560.5mm、最多風向は西北西、年平均風速は3.1～3.3m/s、最深積雪量は2～52cmとなっています。

令和元年の気象概況は、平均気温が12.0℃、年間降水量が1,265.0mm、平均風速は3.3m/s、最多風向は西北西となっています。

表 4.1.1.1 過去10年間（平成22年～令和元年）の気象概況

項目 年次	気温（℃）			年間 降水量 （mm）	最多風向	平均風速 （m/s）	最大風速 （m/s）	最深積雪量 （cm）
	平均	最高	最低					
平成22年	11.8	33.7	-10.3	1,504.0	西北西)	3.1	13.4	11
平成23年	11.2	34.0	-10.7	1,467.5	西北西)	3.1	13.5	22
平成24年	11.1	33.4	-13.9	1,278.5	西北西)	3.2	15.4	16
平成25年	11.4	34.4	-14.4	1,304.0	西北西)	3.3	16.2	26
平成26年	11.0	33.4	-11.0	1,369.5	西北西)	3.2	14.1	52
平成27年	11.9	33.9	-11.2	1,306.5	西北西)	3.1	14.3	21
平成28年	12.2	32.7	-13.0	1,560.5	西北西)	3.3	13.5	12
平成29年	11.2	32.9	-10.9	1,058.5	西北西)	3.3	15.0	14
平成30年	12.3	34.9	-11.3	1,429.0	西北西)	3.3	17.1	17
令和元年	12.0	34.7	-9.5	1,265.0	西北西)	3.3	16.2	2
平均	11.6	33.8	-11.6	1,354.3	西北西)	3.2	14.9	19.3

注：値）統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている。

出典：「気象統計情報」（令和2年3月 気象庁）

表 4.1.1.2 月別の気象概況（令和元年）

項目		月												年間	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
諏訪特別地域気象観測所	気温(°C)	平均	-0.8	1.1	4.6	9.1	15.8	18.8	22.3	25.0	21.3	15.2	7.7	3.3	12.0
		最高	8.8	16.0	19.9	23.3	31.0	27.9	33.5	34.7	31.3	26.9	19.9	13.5	34.7
		最低	-9.5	-8.0	-3.9	-3.5	0.9	11.5	16.6	17.9	11.9	7.2	-2.5	-4.8	-9.5
	降水量合計(mm)	9.5	27.0	68.0	54.5	83.5	177.0	250.0	225.0	29.5	266.5	23.5	51.0	1,265.0	
	平均風速(m/s)	3.5	3.6	3.7	3.9	3.3	2.9	2.5	2.9	3.3	3.4	3.2	2.9	3.3	
	最多風向	西北西	西北西	西北西	西北西	南東	南東	南東	南東	西北西	西北西	西北西	西北西	西北西	

注：値）統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている。
 出典：「気象統計情報」（令和2年3月 気象庁）

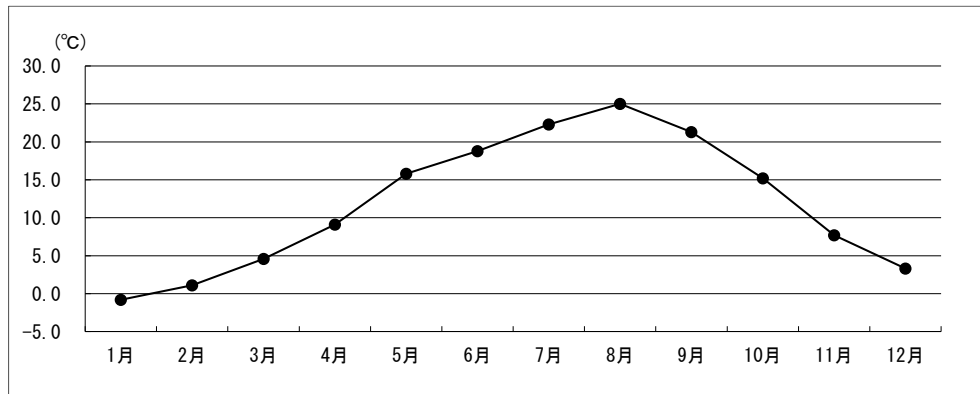


図 4.1.1.2 月平均気温（令和元年）

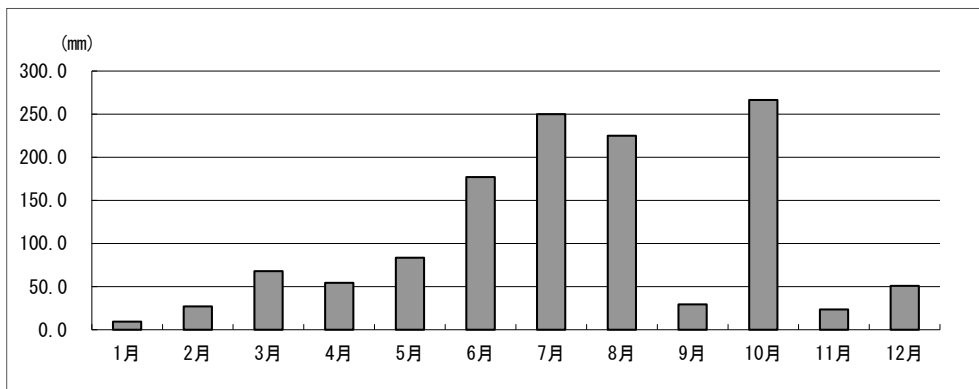


図 4.1.1.3 月降水量（令和元年）

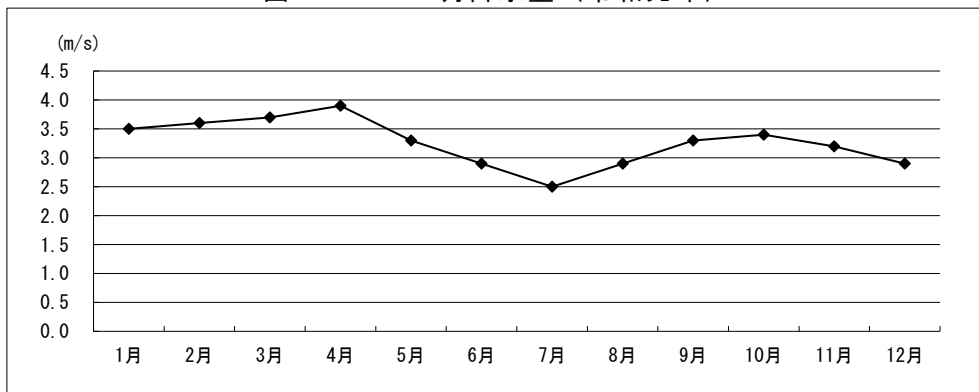
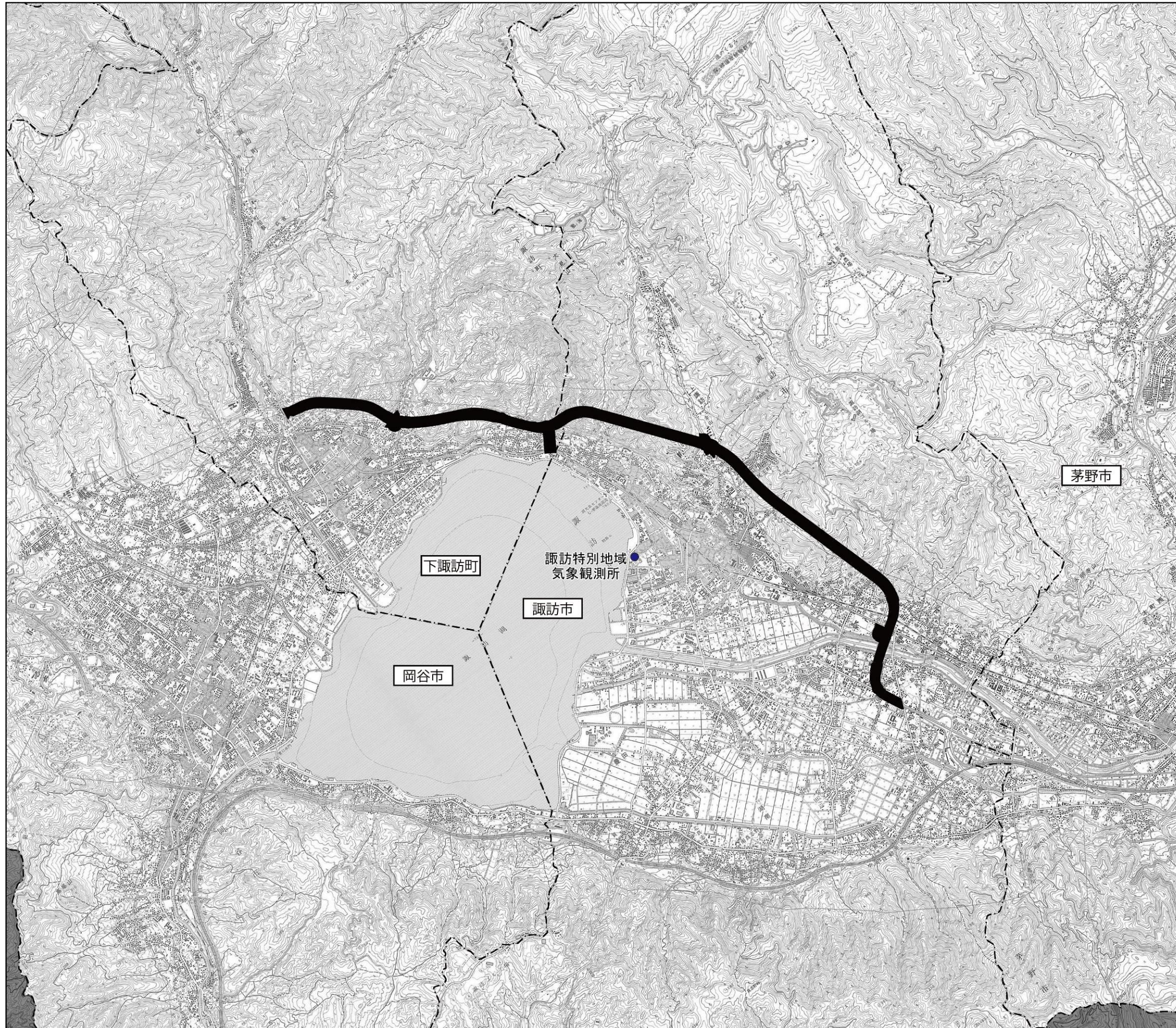


図 4.1.1.4 月別平均風速（令和元年）

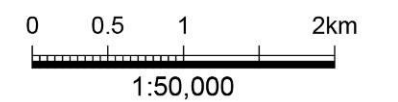
図 4.1.1.5 気象観測所位置図



記号	名称
●	気象観測所

出典：「気象統計情報」（令和2年3月 気象庁）

記号	名称
—	都市計画対象道路事業実施区域
- - - - -	行政界
■	調査対象外



2) 大気質の状況

長野県では、県下の大気汚染状況を把握するため、大気汚染常時監視測定局（以下「常監局」といいます。）を設置し、大気汚染状況の常時監視を行っています。

調査区域に設置されている常監局のうち、一般環境大気測定局（以下「一般局」といいます。）としては、諏訪市に1箇所あります。自動車排出ガス測定局（以下「自排局」といいます。）としては、岡谷市に1箇所あります。

各測定局の測定項目は表 4.1.1.3に、過去5年間の主な大気質の概況は表 4.1.1.4に、測定局の位置は図 4.1.1.11に示すとおりです。

また、有害大気汚染物質の測定局として、全国標準監視地点が諏訪市に1箇所、地域特設監視地点が岡谷市に1箇所あります。

表 4.1.1.3 常監局の位置及び測定項目（平成29年度）

測定局区分	測定局名	所在地	測定項目				
			二酸化硫黄 (SO ₂)	二酸化窒素 (NO ₂)	浮遊粒子状物質 (SPM)	微小粒子状物質 (PM2.5)	光化学オキシダント (O _x)
一般局	諏訪	諏訪市上川 1-1644-10	○	○	○	○	○
自排局	岡谷インターチェンジ	岡谷市今井 1660-4	—	○	○	○	—

出典：「平成29年度大気汚染等測定結果」（平成31年3月 長野県環境部水大気環境課）

表 4.1.1.4 大気質の概況（平成25年度～平成29年度の年平均値の経年変化）

測定局名	物質	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
諏訪	SO ₂	ppm	0.004	0.004	0.003	0.001	0.001
	NO ₂	ppm	0.008	0.007	0.008	0.007	0.006
	SPM	mg/m ³	0.014	0.013	0.013	0.012	0.011
	PM2.5	μg/m ³	9.5	8.0	7.3	8.0	6.8
	O _x **	ppm	0.034	0.035	0.035	0.036	0.037
岡谷インターチェンジ	SO ₂	ppm	—	—	—	—	—
	NO ₂	ppm	0.021	0.020	0.018	0.016	0.016
	SPM	mg/m ³	0.013	0.014	0.013	0.011	0.012
	PM2.5	μg/m ³	10.1	7.6	6.7	7.8	6.5
	O _x	ppm	—	—	—	—	—

※：O_xは昼間の1時間値の年平均値を示す。

出典：「平成29年度大気汚染等測定結果」（平成31年3月 長野県環境部水大気環境課）

(1) 二酸化硫黄 (SO₂)

調査区域の測定局における二酸化硫黄濃度は、表 4.1.1.5及び図 4.1.1.6に示すとおりです。

平成 29 年度における一般局の日平均値の年間 2%除外値は 0.002ppm、1 時間値の最高値は 0.035ppm であり、いずれも環境基準を達成しています。

過去 5 年間（平成 25 年度～平成 29 年度）の年平均値の推移をみると、減少傾向にあります。

表 4.1.1.5 (1) 二酸化硫黄 (SO₂) の測定結果 (平成 29 年度)

測定局区分	測定局名	有効測定日数	測定時間		年平均値		1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		年平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の年間2%除外値	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の達成状況	
			日	時間	ppm	時間	%	日	%	ppm				ppm	有：× 無：○
一般局	諏訪	360	8635	0.001	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.035	0.002	○	達成	達成

注：長期的評価：1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、日平均値の年間2%除外値が0.04ppm以下であること。かつ、1日平均値が0.04ppmを超える日が2日以上連続しないこと。

短期的評価：測定を行った日について、1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であること。かつ、測定を行った時間について、各1時間値が0.1ppm以下であること。

出典：「平成29年度大気汚染等測定結果」（平成31年3月 長野県環境部水大気環境課）

表 4.1.1.5 (2) 二酸化硫黄 (SO₂) の年平均値の経年変化 (単位：ppm)

測定局区分	測定局名	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
一般局	諏訪	0.004	0.004	0.003	0.001	0.001

出典：「平成29年度大気汚染等測定結果」（平成31年3月 長野県環境部水大気環境課）

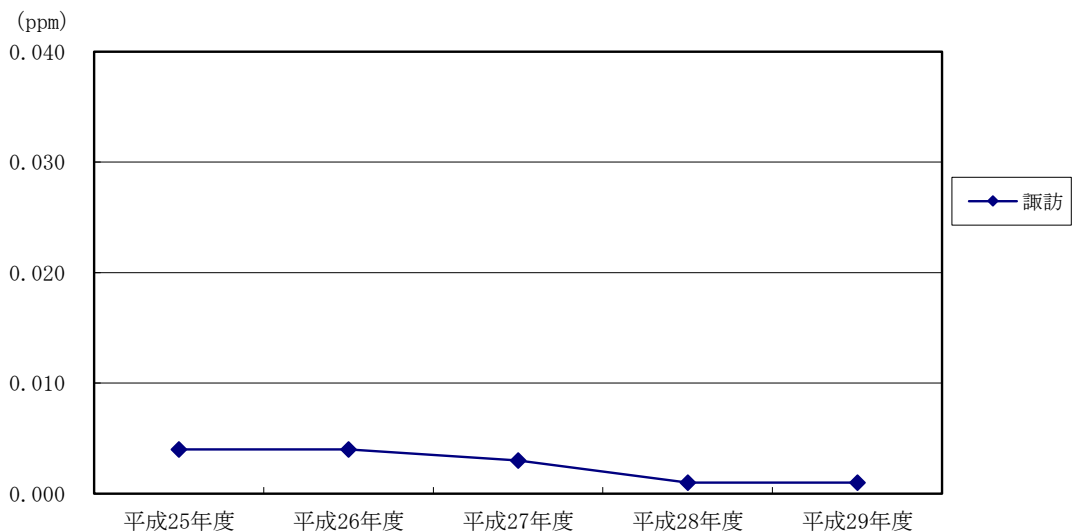


図 4.1.1.6 二酸化硫黄 (SO₂) の年平均値の経年変化

(2) 二酸化窒素 (NO₂)

調査区域の測定局における二酸化窒素濃度は、表 4.1.1.6及び図 4.1.1.7に示すとおりです。

平成 29 年度における日平均値の年間 98%値は、一般局が 0.020ppm、自排局は 0.029ppm であり、いずれも環境基準を達成しています。

過去 5 年間（平成 25 年度～平成 29 年度）の年平均値の推移をみると、一般局でほぼ横ばい傾向に、自排局でやや減少傾向にあります。

表 4.1.1.6 (1) 二酸化窒素 (NO₂) の測定結果 (平成 29 年度)

測定局区分	測定局名	有効測定日数	測定時間		年平均値 ppm	1時間値の最高値 ppm	日平均値が 0.06ppm を超えた日数とその割合		日平均が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下の日数とその割合		日平均値の年間 98% 値 ppm	98% 値評価による日平均値が 0.06ppm を超えた日数 日	環境基準の達成状況
			日	時間			日	%	日	%			
一般局	諏訪	359	8661	0.006	0.048	0	0.0	0	0.0	0.020	0	達成	
自排局	岡谷インターチェンジ [△]	362	8645	0.016	0.065	0	0.0	0	0.0	0.029	0	達成	

注：環境基準：1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、日平均値の年間98%値が0.04ppm～0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。

出典：「平成29年度大気汚染等測定結果」(平成31年3月 長野県環境部水大気環境課)

表 4.1.1.6 (2) 二酸化窒素 (NO₂) の年平均値の経年変化 (単位：ppm)

測定局区分	測定局名	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
一般局	諏訪	0.008	0.007	0.008	0.007	0.006
自排局	岡谷インターチェンジ [△]	0.021	0.020	0.018	0.016	0.016

出典：「平成29年度大気汚染等測定結果」(平成31年3月 長野県環境部水大気環境課)

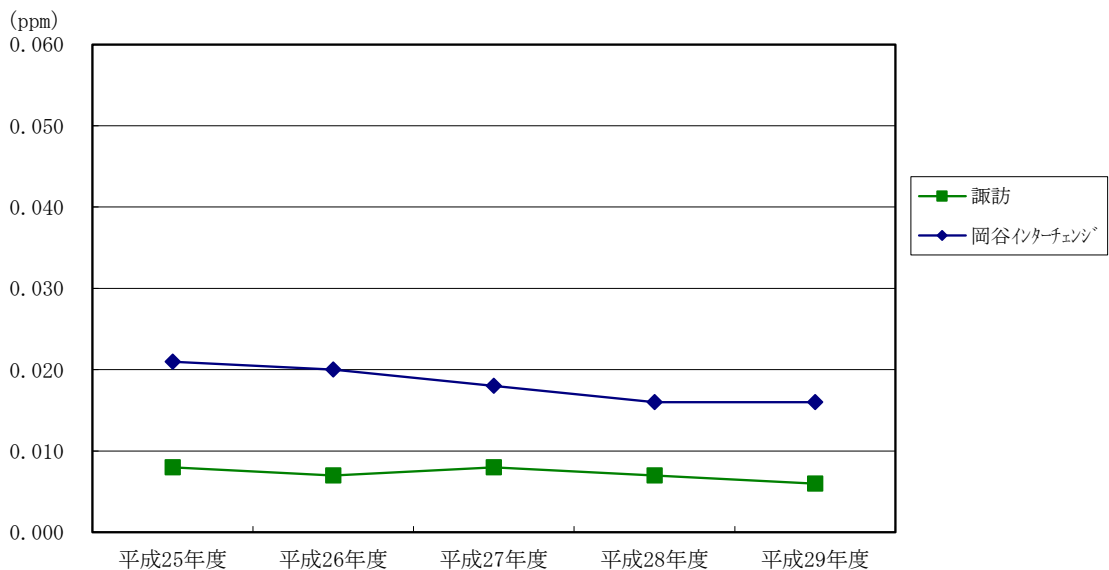


図 4.1.1.7 二酸化窒素 (NO₂) の年平均値の経年変化

(3) 浮遊粒子状物質 (SPM)

調査区域の測定局における浮遊粒子状物質濃度は、表 4.1.1.7及び図 4.1.1.8に示すとおりです。

平成 29 年度における日平均値の年間 2%除外値は、一般局が 0.027mg/m³、自排局が 0.028mg/m³、1 時間値の最高値は、一般局が 0.085mg/m³、自排局が 0.046mg/m³であり、いずれも環境基準を達成しています。

過去 5 年間（平成 25 年度～平成 29 年度）の年平均値の推移をみると、全ての測定局でほぼ横ばい傾向にあります。

表 4.1.1.7 (1) 浮遊粒子状物質 (SPM) の測定結果 (平成 29 年度)

測定局区分	測定局名	有効測定日数	測定時間	年平均値		1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数とその割合		日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の年間2%除外値	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の達成状況		
				日	時間	mg/m ³	時間	%	日				%	mg/m ³	mg/m ³
一般局	諏訪	361	8685	0.011	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.085	0.027	○	達成	達成
自排局	岡谷インターチェンジ	362	8695	0.012	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.046	0.028	○	達成	達成

注：長期的評価：1 年間の測定を通じて得られた 1 日平均値のうち、日平均値の年間 2%除外値が 0.10mg/m³ 以下であること。かつ、1 日平均値が 0.10mg/m³ を超える日が 2 日以上連続しないこと。

短期的評価：測定を行った日について、1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であること。かつ、測定を行った時間について、各 1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

出典：「平成29年度大気汚染等測定結果」（平成31年3月 長野県環境部水大気環境課）

表 4.1.1.7 (2) 浮遊粒子状物質 (SPM) の年平均値の経年変化 (単位：mg/m³)

測定局区分	測定局名	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
一般局	諏訪	0.014	0.013	0.013	0.012	0.011
自排局	岡谷インターチェンジ	0.013	0.014	0.013	0.011	0.012

出典：「平成29年度大気汚染等測定結果」（平成31年3月 長野県環境部水大気環境課）

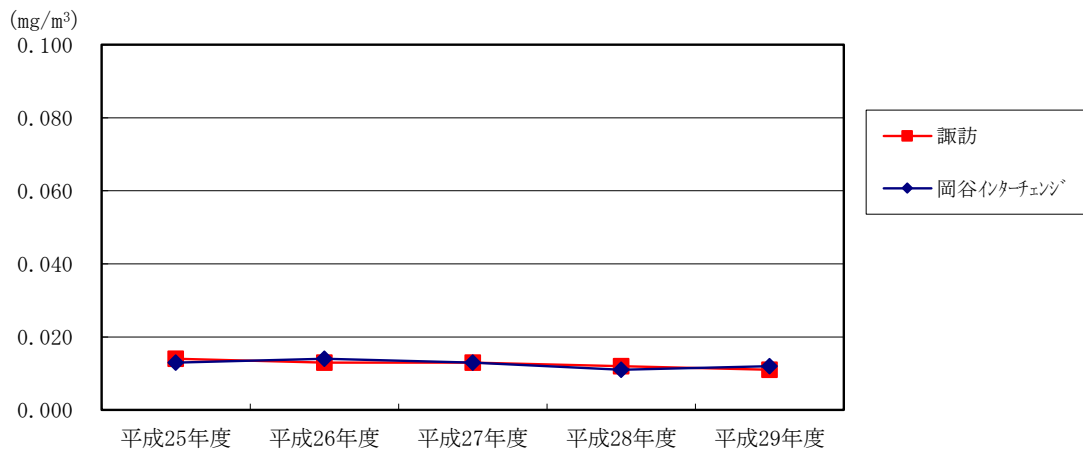


図 4.1.1.8 浮遊粒子状物質 (SPM) の年平均値の経年変化

(4) 光化学オキシダント (O_x)

調査区域の測定局における光化学オキシダント濃度は、表 4.1.1.8及び図 4.1.1.9 に示すとおりです。

平成 29 年度における一般局の昼間の 1 時間値の最高値は 0.090ppm であり、環境基準を超過しています。

過去 5 年間（平成 25 年度～平成 29 年度）の昼間の 1 時間値の年平均値の推移をみると、ほぼ横ばい傾向にあります。

表 4.1.1.8 (1) 光化学オキシダント (O_x) の測定結果 (平成 29 年度)

測定局区分	測定局名	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間の1時間値の年平均値	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数		昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数と時間数		昼間の1時間値の最高値	昼間の日最高1時間値の年平均値	環境基準の達成状況
		日	時間	ppm	日	時間	日	時間	ppm	ppm	
一般局	諏訪	365	5434	0.037	78	508	0	0	0.090	0.048	未達成

注1：環境基準：1時間値が0.06ppm 以下であること。

注2：昼間は5時から20時である。

出典：「平成29年度大気汚染等測定結果」（平成31年3月 長野県環境部水大気環境課）

表 4.1.1.8 (2) 光化学オキシダント (O_x) の昼間の 1 時間値の年平均値の経年変化 (単位：ppm)

測定局区分	測定局名	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
一般局	諏訪	0.034	0.035	0.035	0.036	0.037

出典：「平成29年度大気汚染等測定結果」（平成31年3月 長野県環境部水大気環境課）

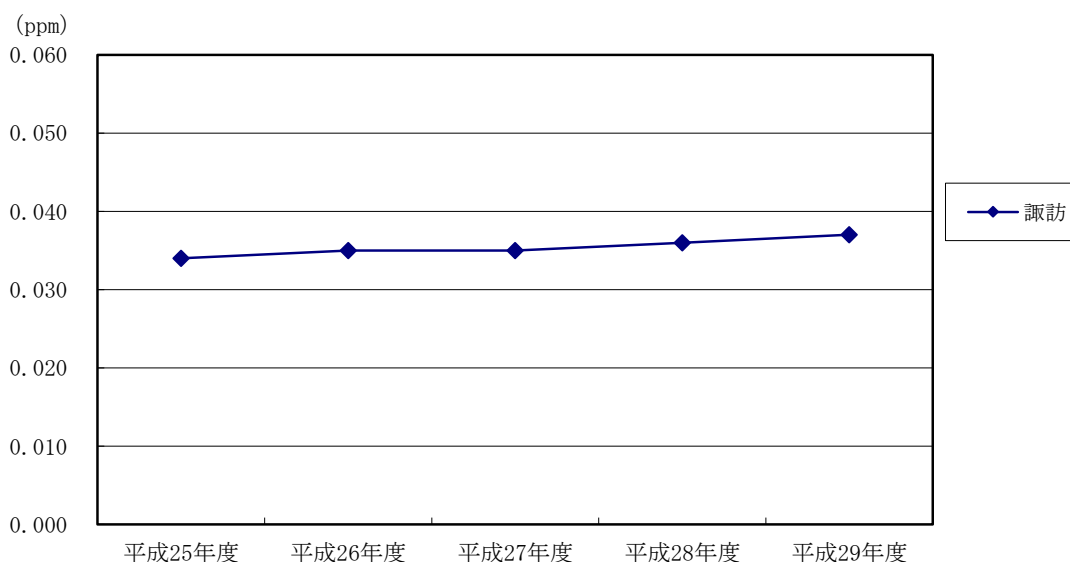


図 4.1.1.9 光化学オキシダント (O_x) の昼間の 1 時間値の年平均値の経年変化

(5) 微小粒子状物質 (PM2.5)

調査区域の測定局における微小粒子状物質濃度は、表 4.1.1.9及び図 4.1.1.10に示すとおりです。

平成 29 年度における年平均値は、一般局が $6.8 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、自排局が $6.5 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、日平均値の年間 98%値は、一般局が $19.5 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、自排局が $19.0 \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、いずれも環境基準を達成しています。

過去 5 年間（平成 25 年度～平成 29 年度）の年平均値の推移をみると、やや減少傾向にあります。

表 4.1.1.9 (1) 微小粒子状物質 (PM2.5) の測定結果 (平成 29 年度)

測定局区分	測定局名	有効測定日数	測定時間	年平均値 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	日平均値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		日平均値の年間98%値 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	環境基準の達成状況	
					日	%		長期基準	短期基準
一般局	諏訪	358	8628	6.8	0	0.0	19.5	達成	達成
自排局	岡谷インターチェンジ	325	7852	6.5	0	0.0	19.0	達成	達成

注：長期基準：1年平均値が $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

短期基準：1日平均値のうち、年間98パーセント値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

出典：「平成29年度大気汚染等測定結果」（平成31年3月 長野県環境部水大気環境課）

表 4.1.1.9 (2) 微小粒子状物質 (PM2.5) の年平均値の経年変化 (単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

測定局区分	測定局名	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
一般局	諏訪	9.5	8.0	7.3	8.0	6.8
自排局	岡谷インターチェンジ	10.1	7.6	6.7	7.8	6.5

出典：「平成29年度大気汚染等測定結果」（平成31年3月 長野県環境部水大気環境課）

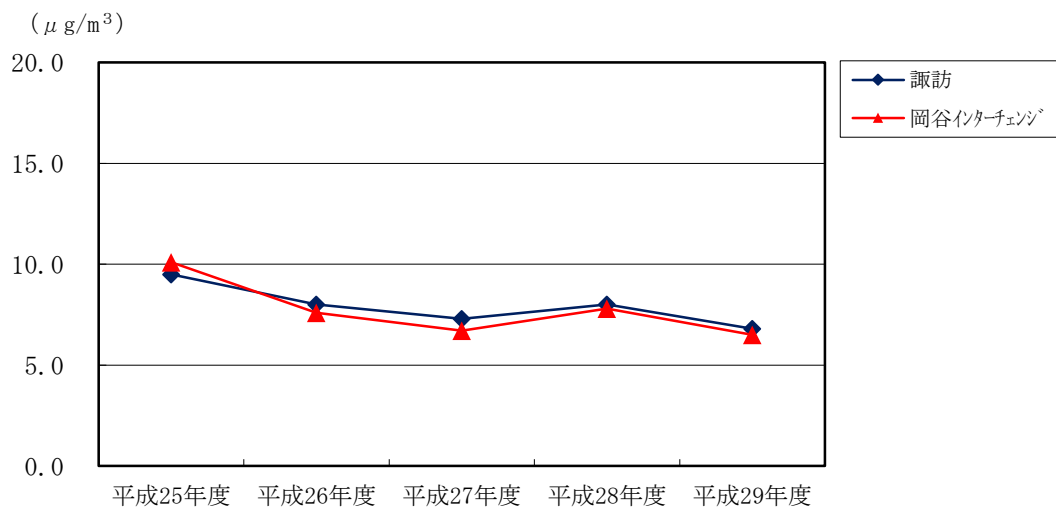


図 4.1.1.10 微小粒子状物質 (PM2.5) の年平均値の経年変化

(6) ダイオキシン類

調査区域の測定局におけるダイオキシン類濃度は、表 4.1.1.10に示すとおりです。

平成 28 年度における一般局の年平均値は、0.0077pg-TEQ/m³であり、環境基準を達成しています。

表 4.1.1.10 (1) ダイオキシン類の測定結果 (平成 28 年度)

測定局区分	測定局名	年平均値 (pg-TEQ/m ³)	環境基準の達成状況
一般局	諏訪	0.0077	達成

注：環境基準：1年平均値が0.6pg-TEQ/m³以下であること。

出典：「平成28年度大気汚染等測定結果」(平成30年3月 長野県環境部水大気環境課)

表 4.1.1.10 (2) ダイオキシン類の年平均値の経年変化 (単位：pg-TEQ/m³)

測定局区分	測定局名	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
一般局	諏訪	—	0.014	—	0.0077	—

出典：「平成29年度大気汚染等測定結果」(平成31年3月 長野県環境部水大気環境課)

(7) 有害大気汚染物質

調査区域における有害大気汚染物質濃度は、表 4.1.1.11に示すとおりです。

環境基準が設定されているベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタンについて、平成 29 年度における年平均値をみると、ベンゼンは岡谷局で $0.70 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、諏訪局で $0.73 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、トリクロロエチレンは、岡谷局で $6.9 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、諏訪局で $4.7 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、テトラクロロエチレンは、岡谷局で $0.058 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、諏訪局で $0.055 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、ジクロロメタンは、岡谷局で $6.0 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、諏訪局で $3.2 \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、いずれも環境基準を達成しています。

環境省が設定した環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値（以下、「指針値」といいます。）として、アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、水銀及びその化合物、ヒ素及びその化合物、ニッケル化合物、1,3-ブタジエン、マンガン及びその化合物が設定されています。平成 29 年度における岡谷局及び諏訪局の年平均値をみると、いずれの物質も指針値より大幅に低い値を示しています。

平成 25 年度～平成 29 年度の有害大気汚染物質の年平均値の経年変化をみると、いずれの物質もほぼ横ばいか、減少傾向にあります。

表 4.1.1.11 (1) 有害大気汚染物質の測定結果 (平成 29 年度)

物質名	測定局名	単位	年平均値	環境基準	指針値	環境基準 又は指針値 の達成状況
ベンゼン	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.70	3	—	達成
	諏訪		0.73			達成
トリクロロエチレン	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	6.9	200	—	達成
	諏訪		4.7			達成
テトラクロロエチレン	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.058	200	—	達成
	諏訪		0.055			達成
ジクロロメタン	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	6.0	150	—	達成
	諏訪		3.2			達成
アクリロニトリル	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.007	—	2	達成
	諏訪		0.015			達成
塩化ビニルモノマー	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.011	—	10	達成
	諏訪		0.010			達成
クロロホルム	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.22	—	18	達成
	諏訪		0.26			達成
1,2-ジクロロエタン	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.14	—	1.6	達成
	諏訪		0.16			達成
水銀及びその化合物	岡谷	ng/m^3	—	—	40	—
	諏訪		1.7			達成
ヒ素及びその化合物	岡谷	ng/m^3	—	—	6	—
	諏訪		0.51			達成
ニッケル化合物	岡谷	ng/m^3	—	—	25	—
	諏訪		0.77			達成
1,3-ブタジエン	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.054	—	2.5	達成
	諏訪		0.059			達成
マンガン及びその化合物	岡谷	ng/m^3	—	—	140	—
	諏訪		9.9			達成

注：指針値とは、環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値。

出典：「平成29年度大気汚染等測定結果」(平成31年3月 長野県環境部水大気環境課)

表 4.1.1.11 (2) 有害大気汚染物質の年平均値の経年変化

物質名	測定局名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	環境基準	指針値
ベンゼン	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.74	0.81	0.76	0.64	0.70	3	—
	諏訪		0.86	0.91	0.80	0.65	0.73		
トリクロロエチレン	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	3.5	4.1	6.7	5.0	6.9	200	—
	諏訪		2.5	3.5	3.6	2.3	4.7		
テトラクロロエチレン	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.13	0.18	0.21	0.14	0.058	200	—
	諏訪		0.11	0.19	0.21	0.13	0.055		
ジクロロメタン	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	13	4.8	6.5	4.4	6.0	150	—
	諏訪		2.0	2.0	2.6	1.5	3.2		
アクリロニトリル	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.041	0.037	0.050	0.021	0.007	—	2
	諏訪		0.089	0.060	0.063	0.026	0.015		
塩化ビニルモノマー	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.018	0.022	0.038	0.013	0.011	—	10
	諏訪		0.013	0.022	0.039	0.010	0.010		
クロロホルム	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.20	0.19	0.21	0.17	0.22	—	18
	諏訪		0.24	0.26	0.24	0.18	0.26		
1,2-ジクロロエタン	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.17	0.20	0.15	0.14	0.14	—	1.6
	諏訪		0.17	0.20	0.15	0.14	0.16		
水銀及びその化合物	岡谷	ng/m^3	—	—	—	—	—	—	40
	諏訪		2.1	2.2	1.9	1.8	1.7		
ヒ素及びその化合物	岡谷	ng/m^3	—	—	—	—	—	—	6
	諏訪		1.1	0.54	0.39	0.48	0.51		
ニッケル化合物	岡谷	ng/m^3	—	—	—	—	—	—	25
	諏訪		1.6	1.9	0.89	0.87	0.77		
1,3-ブタジエン	岡谷	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.10	0.078	0.089	0.056	0.054	—	2.5
	諏訪		0.12	0.091	0.098	0.050	0.059		
マンガン及びその化合物	岡谷	ng/m^3	—	—	—	—	—	—	140
	諏訪		10	7.7	6.3	6.9	9.9		

注1：指針値とは、環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値。

注2：月毎の測定結果が検出下限値未満の場合は、当該測定における測定結果を検出下限値の1/2として年平均値を算出。

出典：「平成29年度大気汚染等測定結果」（平成31年3月 長野県環境部水大気環境課）

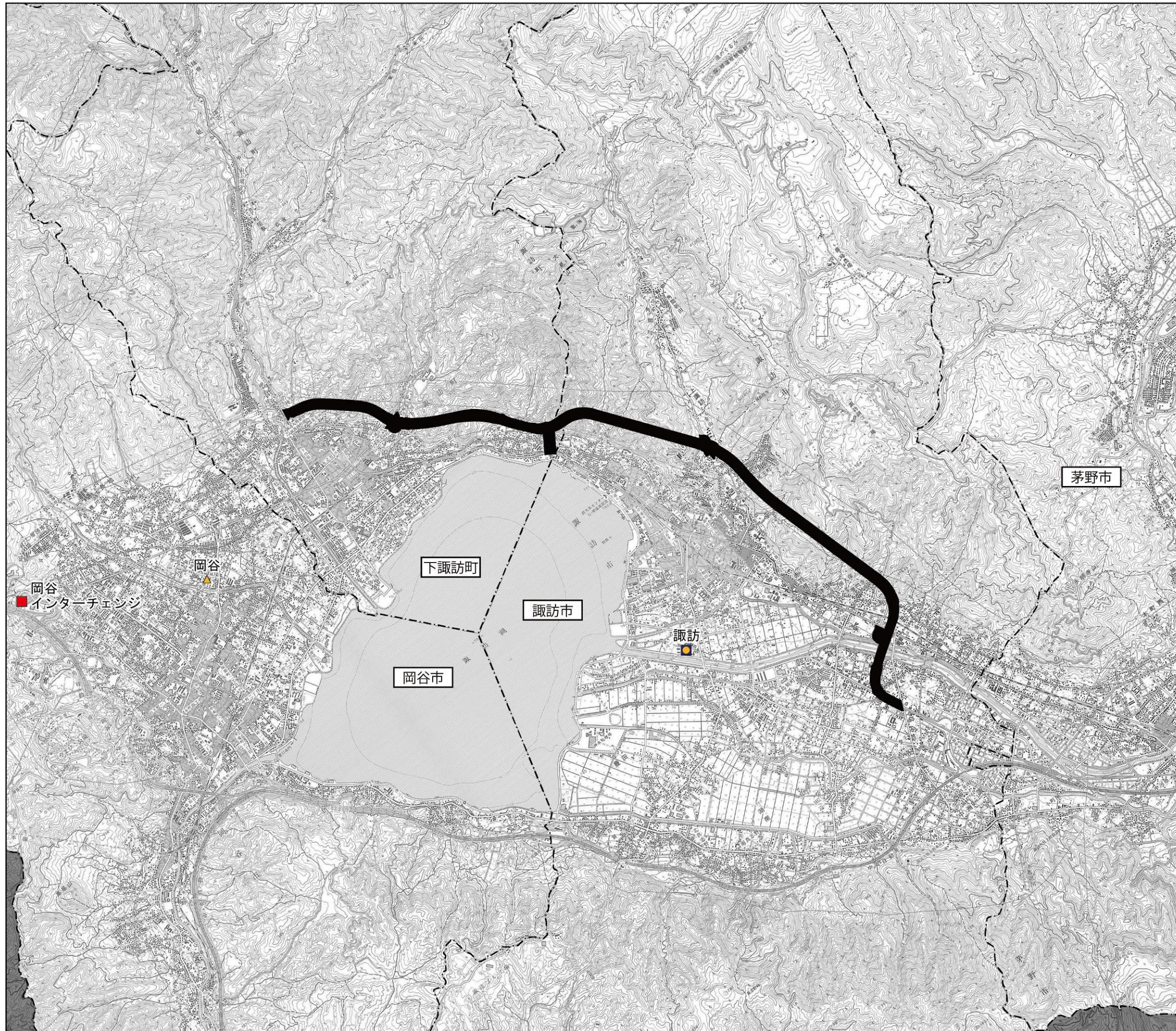
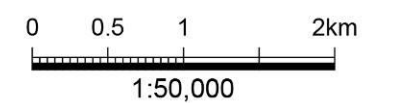


図 4.1.1.11大気質の測定局の位置図

記号	名称
■	自動車排出ガス測定局
■	一般環境大気測定局
●	全国標準監視地点
▲	地域特設監視地点

出典：「平成 29 年度大気汚染等測定結果」
 (平成 31 年 3 月 長野県環境部水大気環境課)

記号	名称
—	都市計画対象道路事業実施区域
- - -	行政界
■	調査対象外



3) 騒音の状況

調査区域における道路交通騒音の調査地点は図 4.1.1.12に示すとおりであり、測定結果は表 4.1.1.12に示すとおりです。

測定結果をみると、昼間夜間ともに環境基準を達成している地点は、36 地点中 26 地点あります。

表 4.1.1.12 (1) 道路交通騒音の測定結果(自動車騒音の常時監視)

番号	路線名	測定地点の住所	車線数	環境基準 類型	等価騒音 レベル(dB)		環境基準 との比較		測定 年度
					昼間	夜間	昼間	夜間	
1	中央自動車道西宮線	諏訪市大字中洲	4	B	56	52	○	○	H29
2	長野自動車道	岡谷市成田町2丁目3	4	B	58	55	○	○	H28
3	一般国道20号	岡谷市今井	3	-	59	56	○	○	H29
4	一般国道20号	岡谷市長地	2	C	65	64	○	○	H29
5	一般国道20号	岡谷市長地源2丁目	2	C	70	70	○	×	H29
6	一般国道20号	諏訪市諏訪2丁目5	2	C	70	66	○	×	H26
7	一般国道20号	諏訪市大字四賀	2	C	71	67	×	×	H27
8	一般国道20号	諏訪市沖田町	2	C	63	61	○	○	H27
9	一般国道20号	茅野市中沖	2	C	65	62	○	○	H29
10	一般国道20号	茅野市ちの	2	B	64	59	○	○	H29
11	一般国道20号	茅野市宮川	2	C	65	62	○	○	H29
12	一般国道20号	茅野市宮川	2	C	69	68	○	×	H29
13	一般国道152号	茅野市宮川	2	B	68	66	○	×	H26
14	岡谷茅野線	岡谷市天竜町3丁目12	2	B	66	57	○	○	H26
15	岡谷茅野線	岡谷市湊4丁目1	2	B	70	67	○	×	H26
16	岡谷茅野線	岡谷市湊5丁目11	2	B	67	63	○	○	H26
17	岡谷茅野線	諏訪市大字豊田	2	C	68	64	○	○	H29
18	岡谷茅野線	諏訪市大字豊田	2	-	64	61	○	○	H30
19	岡谷茅野線	諏訪市大字湖南	2	B	68	66	○	×	H30
20	岡谷茅野線	茅野市宮川	2	B	72	68	×	×	H27
21	岡谷茅野線	茅野市宮川	2	B	66	63	○	○	H27
22	岡谷下諏訪線	岡谷市南宮2丁目	2	B	68	61	○	○	H27
23	諏訪辰野線	諏訪市城南2丁目	2	-	64	55	○	○	H28
24	諏訪辰野線	諏訪市渋崎	2	B	63	57	○	○	H28
25	下諏訪辰野線	岡谷市長地柴宮1丁目4	2	B	64	57	○	○	H30
26	諏訪湖四賀線	諏訪市大字四賀	2	C	68	65	○	○	H26
27	檜川岡谷線	岡谷市山下町1丁目	2	C	67	65	○	○	H27
28	茅野停車場八子ヶ峰公園線	茅野市米沢	2	B	69	63	○	○	H28
環境基準					70	65	-		
要請限度					75	70	-		

注1：環境基準及び要請限度は、幹線交通を担う道路に近接する空間における特例の基準値を示す。

幹線交通を担う道路とは、高速自動車国道、一般国道、都道府県道、4車線以上の市町村道をいう。

また、近接する空間とは、2車線以下では道路端から15m、2車線を超える場合は道路端から20mの区間をいう。

注2：環境基準との比較

○：達成、×：超過

注3：昼間：6：00～22：00、夜間：22：00～翌6：00

出典：「自動車騒音の常時監視結果」（令和2年3月 環境省）

表 4.1.1.12 (2) 道路交通騒音の測定結果(道路環境センサス)

番号	路線名	測定地点の住所	車線数	環境基準 種類	等価騒音 レベル(dB)		環境基準 との比較		測定 年度
					昼間	夜間	昼間	夜間	
1	一般国道20号	岡谷市長地 6152	2	B	63	64	○	○	H17
2	一般国道20号	岡谷市長地出早 2-12	4	C	55	56	○	○	H17
3	一般国道20号	岡谷市長地芝宮 2-3398-1	2	C	69	66	○	×	H22
4	一般国道20号	諏訪市赤羽 3-28	2	C	67	62	○	○	H22
5	一般国道20号	茅野市上原 1095-1	2	B	74	69	×	×	H22
6	一般国道20号	諏訪市大字中洲字砂田 2922	4	C	62	58	○	○	H17
7	一般国道20号	茅野市ちの字丁田 2766-5	4	C	62	61	○	○	H17
8	一般国道20号	茅野市宮川字下河原 3833-1	2	C	66	64	○	○	H20
環境基準					70	65	—		
要請限度					75	70			

注1：環境基準及び要請限度は、幹線交通を担う道路に近接する空間における特例の基準値を示す。

幹線交通を担う道路とは、高速自動車国道、一般国道、都道府県道、4車線以上の市町村道をいう。

また、近接する空間とは、2車線以下では道路端から15m、2車線を超える場合は道路端から20mの区間をいう。

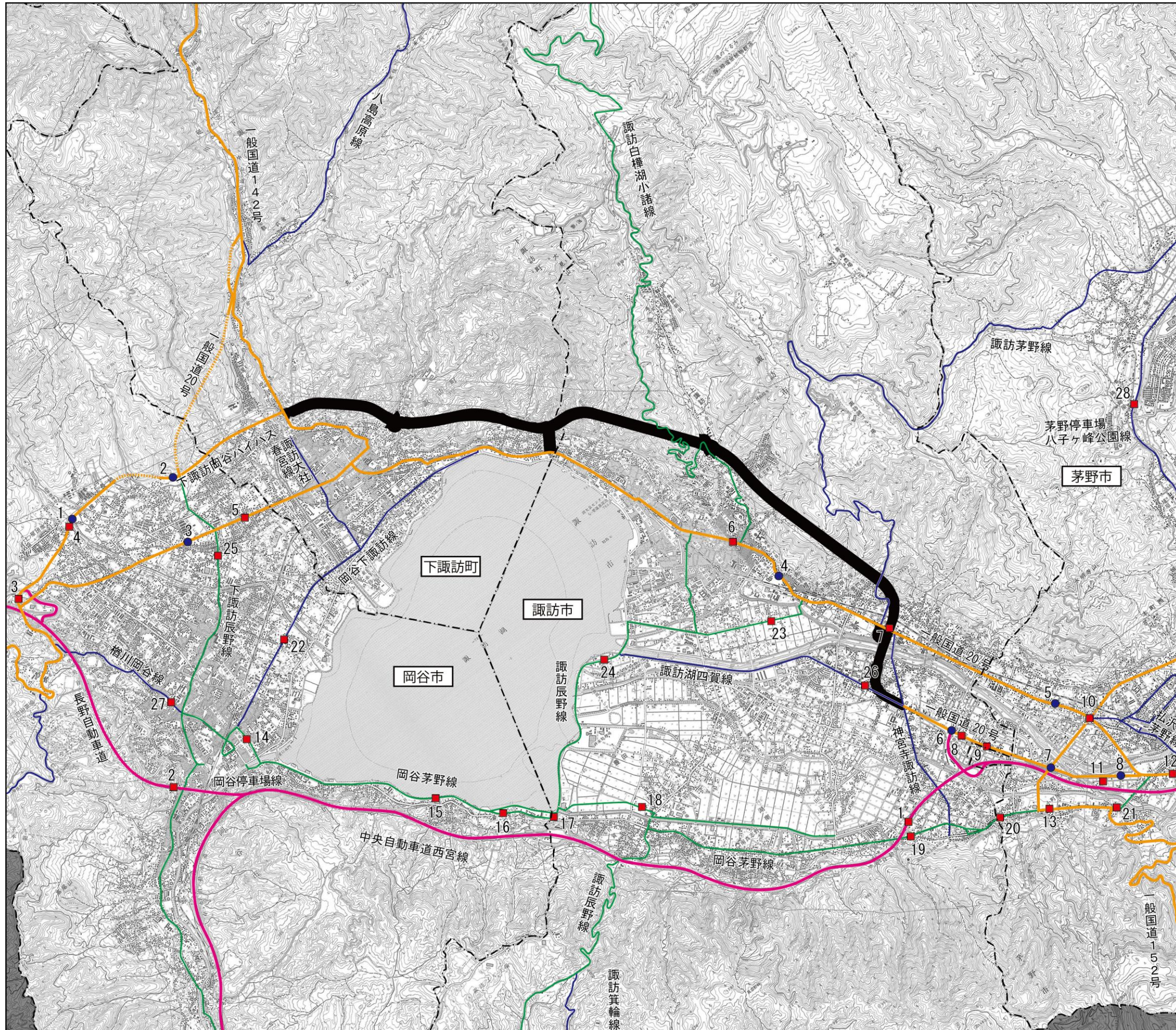
注2：環境基準との比較

○：達成、×：超過

注3：昼間：6：00～22：00、夜間：22：00～翌6：00

出典：「平成22年度 長野国道管内道路環境センサス調査業務」（平成23年1月 国土交通省長野国道事務所）

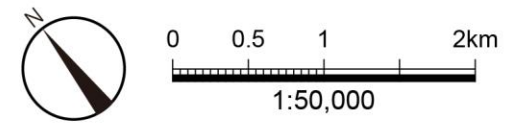
図 4.1.1.12 騒音調査地点位置図



記号	名称
■	自動車騒音測定位置
●	道路環境センサ実測箇所
— (thick pink)	高速自動車道
— (orange)	一般国道
— (blue)	一般県道
— (green)	主要地方道

出典：「自動車騒音の常時監視結果」
 (令和2年3月 環境省)
 「平成22年度長野国道管内道路環境センサ調査業務」
 (平成23年1月 国土交通省長野国道事務所)

記号	名称
— (thick black)	都市計画対象道路事業実施区域
- - -	行政界
■ (grey)	調査対象外



4) **振動の状況**

調査区域においては、振動の測定結果に関する公表資料はありません。

5) **低周波音の状況**

調査区域においては、低周波音の測定結果に関する公表資料はありません。